

研修番号 1	
研修科目名	課題発見・データ分析力研修
研修目的	様々な情報（データ）の中から、事務事業等の現状と問題を的確に把握して課題を明確化し、政策立案と施策実施につなげていくための考え方や技法を修得する。
受講対象者	主事・技師クラス
受講人数	約36名／1回
研修希望日時	令和8年6月17日（水）／9:00～17:00（12:00～13:00 は休憩）
予定実施回数	1回
研修方法	・対面による集合研修。 ・講義と演習（個人ワークとグループ（2名以上）ワーク）を組み合わせること。 ・グループワークでは、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研修内容	・事務事業等の課題を的確に把握するための考え方を理解し、その技法を身につける。 ・課題解決に向けた情報（データ）の収集や分析の考え方を理解し、その技法を身につける。 ・情報（データ）の活用等により、政策立案や施策実施につなげるための考え方を理解し、その技法を身につける。
留意事項	・講義や演習において、地方自治体の業務に関わりの深い情報（データ）を題材に取り入れること。 ・単なる知識の習得に留まらず、実践的能力が身につく研修とすること。 ・提案する研修内容に独自の特徴ある内容（受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項）がある場合は、それを明記すること。

研修番号 2	
研修科目名	企画立案基礎研修
研修目的	課題解決に向けたアイデアを実務へ落とし込む際の一連の流れ、重要なポイント、技法などを学び、企画立案において必要な基礎的能力を身に付ける。
受講対象者	主事・技師クラス
受講人数	約36名／1回
研修希望日時	① 令和8年 7月 3日（金）／9:00～17:00（12:00～13:00 は休憩） ② 令和8年11月 5日（木）／9:00～17:00（12:00～13:00 は休憩）
予定実施回数	2回
研修方法	・対面による集合研修。 ・講義と演習（個人ワークとグループ（2名以上）ワーク）を組み合わせること。 ・グループワークでは、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研修内容	・企画立案の具体的な作業の流れを理解する。 ・企画立案における発想の出し方と課題検証のスキルを身に付ける。 ・企画構築のポイント、記載すべき内容や表現方法、関係者との調整等、企画書作成スキルを身につける。
留意事項	・地方自治体の職員が、組織内部での企画提案に活用できる内容（新規事業や既存事業の見直し、組替えの提案等、さまざまな行政の職場で活用できる普遍性のあるもの）とすること。 ・単なる知識の習得に留まらず、実践的能力が身につく研修とすること。 ・提案する研修内容に独自の特色ある内容（受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項）がある場合は、それを明記すること。

研修番号 3	
研 修 科 目 名	E B P M研修
研 修 目 的	E B P M（証拠に基づく政策形成）の考え方とE B P Mの基礎となるデータ分析・活用スキルを修得し、効果的な政策立案や政策改善を行う能力の向上を図る。
受 講 対 象 者	主任クラス
受 講 人 数	約 3 6 名／1 回
研修希望日時	令和 8 年 9 月 1 8 日（金）／9:00～17:00（12:00～13:00 は休憩）
予定実施回数	1 回
研 修 方 法	・ 対面による集合研修。 ・ 講義と演習（個人ワークとグループ（2 名以上）ワーク）を組み合わせること。 ・ グループワークでは、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研 修 内 容	・ E B P Mの考え方を理解する ・ 施策形成や評価のためのデータ収集、分析、活用のスキルを身に付ける。 ・ E B P Mプロセスにおけるロジックモデル（施策設計図）立案のスキルを身に付ける。
留 意 事 項	・ 本県で実施しているウェルビーイング指標などのデータ活用による施策立案や、「ウェルビーイング県民意識調査」のデータを取り上げ、実習もこれに沿ったものとする。こと。（実施方法については事前に県と協議） ・ 単なる知識の習得に留まらず、実践的能力が身につく研修とすること。 ・ 提案する研修内容に独自の特色ある内容（受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項）がある場合は、それを明記すること。